

第1次磐田市総合計画

後期基本計画

平成24年度から平成28年度まで



平成24年3月

磐田市

後期基本計画の策定にあたって

～「総合力ナンバーワンのまち」を 目指して～



本市は、平成17年の合併を契機に、平成19年3月に策定した磐田市総合計画前期基本計画が平成23年度をもって計画期間の終了を迎えたことから、平成24年度から平成28年度までの新たなまちづくりの展開に向けて、基本的な施策や事業をまとめた「後期基本計画」を策定しました。

アメリカのリーマンショックを発端とした経済の停滞やユーロ圏経済の低迷など、前期基本計画策定からの5年間に世界の社会経済情勢は大きく変動し、国内においても、昨年3月11日の東日本大震災を受け、安全・安心に向けたまちづくりへの取り組みが強く求められるなど大きな転換期を迎えております。

今、時代が大きく変貌を遂げるなかで、本市においても、全国の自治体同様、引き続き厳しい財政状況の中、急速に進む少子高齢化や環境問題、経済状況の低迷などへの対応を迫られています。加えて、今後は、国の合併支援策のひとつである普通交付税の合併特例措置が平成28年度から段階的に縮小され、平成32年度を最後に満了となり、多大な影響を及ぼすことが想定されます。

このような状況下での今回の計画策定にあたっては、行財政改革の推進はもとより、目まぐるしく変動する社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応し、財政見通しにしっかりと基づいた実現性・実行性のある計画とし、安全・安心に関わるものや市民生活に直結する「今やるべき」もの、人材育成や教育などの将来の基礎となるものには、積極果敢に取り組んでいくこととしております。

また、この計画の推進にあたっては、市民・事業者・行政が一体となった「オール磐田」による取り組みを進め、産業、歴史、文化、スポーツなど、他には負けない磐田の強みを最大限に活用して、日本一バランスの取れた「総合力ナンバーワンのまち」を目指していきたいと思っております。

最後に、計画の策定にあたり、熱心なご議論をいただいた磐田市総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、多くの貴重なご意見・ご提言をお寄せいただいた市民の皆様に対し、心から感謝申し上げますとともに、今後とも本市の発展のため、ご支援とご協力をお願いいたします。

平成24年3月

磐田市長 渡部 修

目次

第1部 はじめに

■ 1	計画の策定趣旨	2
■ 2	計画の構成	2
■ 3	施策の大綱（体系）	3
■ 4	計画の期間	4
■ 5	計画の基本理念	4
■ 6	計画策定の背景	5
■ 7	計画策定の視点	10

第2部 後期基本計画（H24～H28）

■	計画書の構成	12
■	第1章 環境にやさしいまちづくり	15
■	第2章 住んで良かったと思えるまちづくり	25
■	第3章 豊かな心を育み活躍できるまちづくり	35
■	第4章 安全・安心なまちづくり	47
■	第5章 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	57
■	第6章 交流と活力のあるまちづくり	67
■	第7章 計画推進のために	77

資料編

■	1 資料1 総合計画の策定経過	86
■	2 資料2 磐田市総合計画審議会条例	87
■	3 資料3 磐田市総合計画審議委員名簿	88
■	4 用語解説	89



磐田市

第1次 磐田市総合計画 後期基本計画

発行日／平成 24年 3月 発行者／磐田市 企画部 政策企画課 電話／0538-37-4805